

山梨県美容業生活衛生同業組合

活動を通じて美容業界の
振興と技術をアピール

ACTIVE KUMIAI



大会はワインディング競技から始まった

美容業界では、最新のファッションや流行に敏感な顧客のニーズの多様化、個性化が進み、より高度で顧客を満足させるための技術の提供が、常に目まぐるしい早さで求められている。

山梨県美容業生活衛生同業組合(深澤仁理事長)は、本年度も美容業界のさらなる発展と振興のため、美容師の技術向上や最新の流行を広く一般に発信する取り組みを行っている。

去る7月14日には、甲府市の「かいてらす」(山梨県地場産業センター)において第22回山梨

県美容技術選手権大会を開催し、全9競技にそれぞれ出場する美容師と美容専門学校生総勢80人が、ヘアスタイル、ネイル着付等々、それぞれの競技で研鑽を重ねた技術を競った。

この大会の成績優秀者は、11月に福岡県(マリンメッセ福岡)で開催される第36回全日本美容技術選手権大会へ出場する。10月13日には、恒例となった美容まつり(ビューティーフェスティバル)を甲府市緑ヶ丘の美容会館と美容専門学校で開催する。一般の消費者に美容業、美容師、美容学校への認識を深めてもらうことが目的で、当日は専門学校生による出店やネイルアート・エステなど無料体験コーナー、福引き抽選会などの催し物が盛りだくさんだ。

また、年明けの2月17日には、山梨が開催担当県となり、全日本美容講師会主催による、第93回トップマスターズモード発表会が県立県民文化ホールで開催される。

この発表会には、全国各地から3千人以上の美容関係者が訪れる予定となっており、山梨から来春の流行、新作ヘアスタイルなどが全国に向けて発信される。

組合では、美容師個々の技術向上、次代を担う人材の養成等を積極的に強化することはもとより、様々な組合活動、イベントで広く一般にアピールすることにより、さらなる業界の発展と振興を目指している。



与えられた制限時間で技術を競い合った